

電波時計（報時計付掛時計）取扱説明書

取扱説明書番号 M288-CXXY

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正します
- 毎正時と30分にメロディやチャイム、鐘の音で時刻をお知らせします
- 暗くなると秒針、報時を自動停止します

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記事事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。
- 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎてても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

発売元 リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

お問い合わせ先 お客様相談室 **0120-557-005**
(フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号（型番）をお伝えください。例 4MN000

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

(Y1001)

安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告 「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

禁止 してはいけない「禁止」内容です。

注意 「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

強制 必ず実行していただく「強制」内容です。

■誤飲による事故防止について

警告 小さな部品や電池は、幼児の手の届かぬ所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

分解禁止 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

注意 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■使用場所について

禁止 下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿度が多いところ。
- ほごりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- 軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的な汚れを落としてください。

時計の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定にしたがってください。

おもな製品仕様

受信回数	自動受信による時刻修正回数は、最少1日1回から最多1日12回まで受信状況により変化します。	
条件	回数	開始時刻
▶ 受信成功から72時間以内の場合	1～3回/日	AM 2:16:40、AM 3:16:40、AM 4:16:40
▶ 連続72時間以上受信に失敗している場合	12回/日	奇数時の16分40秒 例 AM 1:16:40、AM 3:16:40など
▶ 初めから受信に失敗している場合		
▶ 手動で時刻合わせをした場合		
時 間 精 度	標準電波の受信に成功したときの表示精度（受信直後） 秒針 ±1秒 時針/分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信しないとき 平均月差±20秒 (常温中のクォーツ精度)	標準電波 標準電波を受信して時刻を修正 受信局 福島局/九州局 自動選択 受信回数 最少1回/日、最多12回/日 サーチ機能 受信局、電波の強弱表示 受信機能ON/OFF ボタン操作で切り替え 手動時刻合わせ ボタン操作で可能
使用温度範囲	-10℃～+50℃	暗所秒針停止 明暗センサーと連動して、暗くなると秒針を12時位置に停止
使用電池	単2形アルカリ乾電池 JIS規格 LR14 2個	電池の交換時期 交換時期になると秒針が常時12
電池寿命	約1年 受信に成功しているとき 報時を音量中で17回/日使用	お知らせ機能 時位置に停止
報時機能	毎正時に電子音で報時	
報時精度	表示時刻に対して±1秒	
曲 数	6曲	
報時音	チャイム+数取り、メロディ+数取り、数取りから選択	
音量調節	ロータリー式ボリューム	
暗所自動鳴り止め	報時スイッチが自動消音のときに明暗センサーと連動して停止。	

- 製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品

単2形アルカリ乾電池	2個
木ねじ	1個
取付金具	1個
取扱説明書	本書
保証書	1枚

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

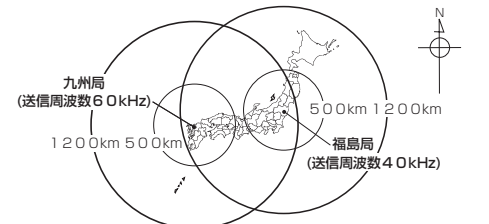
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でのご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

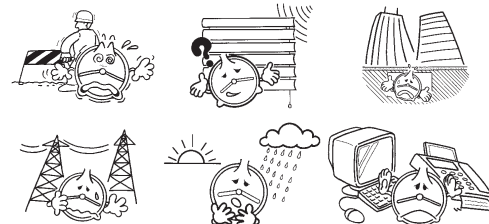


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



電池のご注意（電池の正しい使い方）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の実異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かないところに置く。

電池の種類について

- 本製品は電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。⚠アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。
- 一般に充電池乾電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。(例: Panasonic オキシライド乾電池)

取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

- 警告 ●電池に傷をつけたり、分解しない。
- 電池を充電しない。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 注意 ●電池をショートさせない。
- 時計を使用しないときは電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

警告 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

注意 もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定にしたがってください。

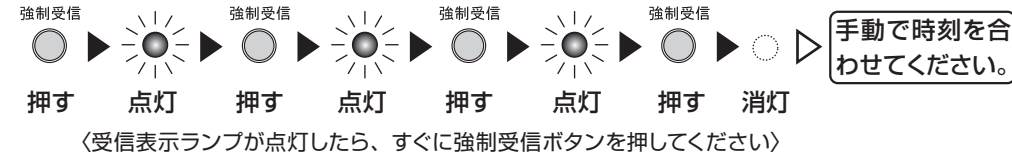
注意 火に入れると破裂の原因となり危険です。

電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすいところで使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

■電波受信機能をOFFにするには（停止するには）

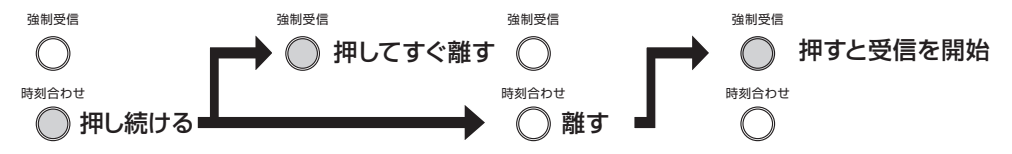
図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。



※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早速りて動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

■電波受信機能をONにするには（開始するには）

工場出荷時の設定は、電波受信機能はONになっています。時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



ご注意

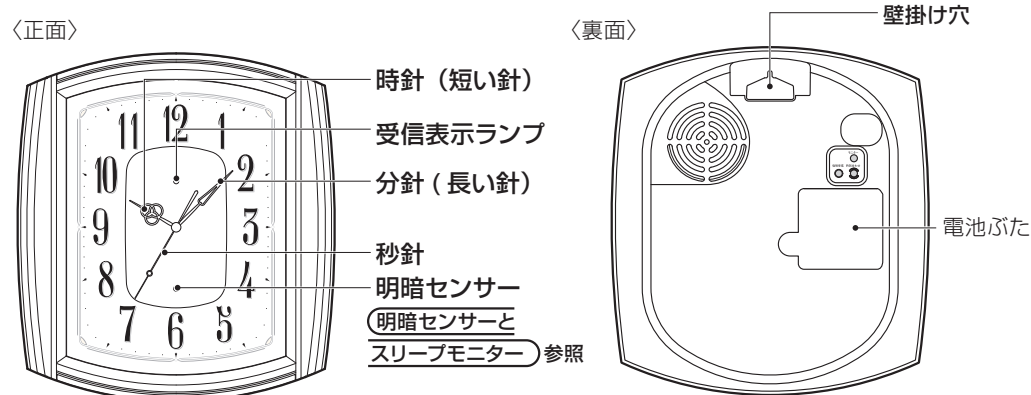
※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」こととす。

※電池を取り出しても長い時間設定を保持していますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

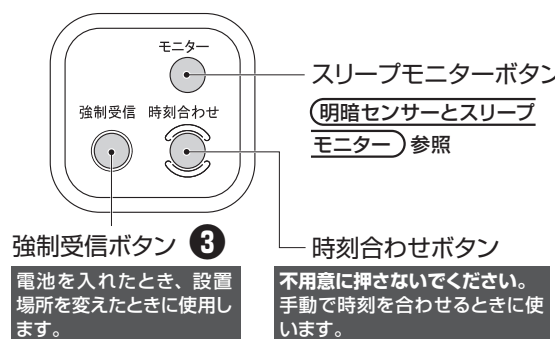
図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



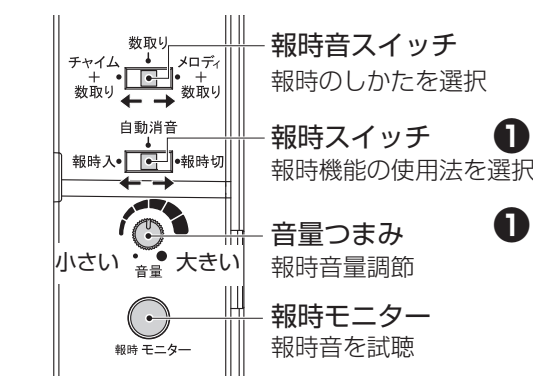
〈電池の入れ方〉②

- 電池ぶたを引っ張って取り外す
- 単2形アルカリ乾電池2個を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れる。
- 電池ぶたを押し込んで取り付ける。

〈裏面操作部〉



〈側面操作部〉



通常の針の動き
時針・分針：10秒に1回動きます。
秒針：滑らかな1秒ステップ。
※自動受信で時刻を修正するときは、早送りで順方向または逆回りしたり、停止することがあります。

明暗センサーとスリープモニター ……暗くなると秒針と報時が停止

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針は12時位置に到達したところで停止し、受信表示ランプが消灯します。また、報時スイッチが自動消音のときは報時を停止します。センサーは、時計の周囲の明るさに反応しますので、昼間や夜間の照明時などでも明るさが不足して、反応することがあります。

スリープモニターは明暗センサーの機能を確認するためのもので、秒針が55～59秒の位置になったときに、スリープモニターボタンを押し、そのまま押し続けると12時位置になったときに秒針が停止します。ボタンを離すと秒針が現在時刻位置に早送りで移動します。

電池の交換時期お知らせ機能

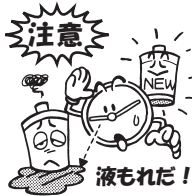
電池の交換時期になると、明るいところでも秒針が12時位置に停止したままになります。そのまま放置すると電池からの液もれや誤作動の原因になりますので、このような状態になったときは、速やかに新品の電池にすべて交換してください。

- ※電池の交換時期になると報時が停止します。
- ※時針・分針は、このような状態になってから約1ヵ月動き続けますが、使用状態により期間が前後することがあります。

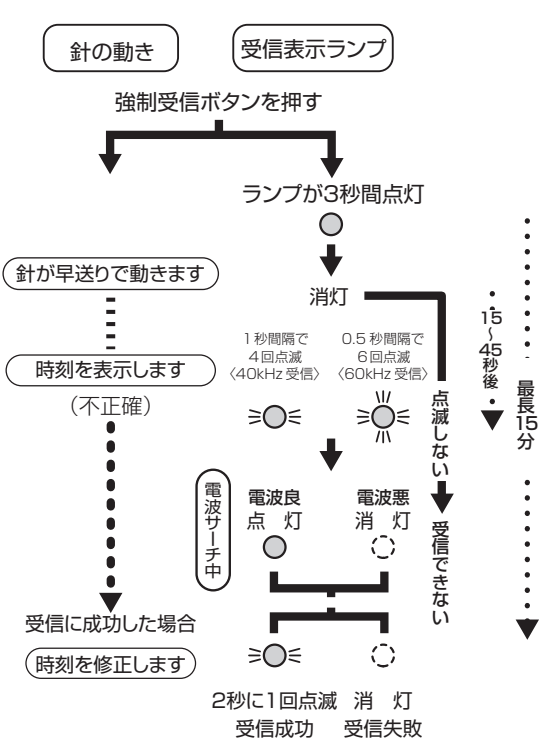
◆ 電池の交換 早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池を長期間使い続けると、電池からの液もれが発生しやすくなります。電池からの液もれが発生すると、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても使い方に応じて定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混在して使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。



標準電波—受信の流れとサーチ機能の使い方



電波サーチ機能は、受信表示ランプの点灯または消灯により、時計がある場所の電波状態をお知らせします。

サーチ機能を使用するときの手順

- 窓際やベランダなど電波の受信しやすいところに時計を移動させます。
- 強制受信ボタンを押します。受信表示ランプが約3秒間点灯後に受信を開始。針は早送りで移動し、時刻を表示します。
- 受信局を表示後、受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動します。
- 電波状態を確認します。
点灯：電波良好→受信できる可能性大
消灯：受信できない
→時計を移動させてください。
- 受信結果を表示します。
受信成功：2秒に1回点滅
受信失敗：消灯

- 受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
- 受信に失敗している場合は、表示されている時刻は正しくありません。
- 受信表示ランプは、受信に成功すると最長で24～25時間表示をつづけます。

Ⓐ 標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
(標準電波-受信の流れとサーチ機能の使い方) 参照
- 時刻を合わせ使用する
ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

受信できない場合は、手動で時刻を合わせるによりご使用になります。

1. 使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、Ⓐ 標準電波を受信できない場合の「手動での時刻合わせ」を参照してください。

- 窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。
 - ① 側面にある音量つまみを最小にする
操作中に報時が大きな音で鳴り出さないようにします。
 - ② 電池を入れる 〈電池の入れ方〉参照
電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れます。
電池を逆に入れると、電池の液もれ・発熱・破裂の原因となります。
 - ③ 強制受信ボタンを押す (標準電波-受信の流れとサーチ機能の使い方) 参照
受信表示ランプが点灯して受信を開始します。針が早送りで移動を開始して時刻を表示します。ここで表示される時刻は、正しい時刻ではありません。
※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。
 - ④ 時計を掛ける (時計の掛け方) に従い、時計を確実に掛けてください。
 - ⑤ 受信開始から15分以上経過後に受信表示ランプで結果を確認する
受信成功：2秒に1回点滅 正しい時刻を表示
受信失敗：消灯→ Ⓐ 標準電波を受信できない場合 参照
- 報時機能は 2. 報時の使い方 にしたがって設定してください。

2. 報時の使い方 ……お好みに合わせて報時機能を設定してください。

報時スイッチの設定

報時入、自動消音、報時切のいずれかを選択してください。

- 時 報 入 毎正時に報時します。
- 自動消音 暗くなると報時を自動停止。
- 時 報 切 報時をしません。

音量調節のしかた

報時モニターボタンを押し、報時している間に音量つまみを回して調節します。

報時音の試聴のしかた

報時モニターボタンを押すと報時音スイッチに対応した報時音を奏でます。報時は時計が指している時刻に対応します。
例. 3時35分のときは3時の報時音が鳴ります。
報時音スイッチが「メロディ+数取り」のときは、鳴っているときに報時モニターボタンを押すと、つぎのメロディに切り替わります。
※時刻合わせボタンで正時(例. 10時)にしても報時をしません。

報時音スイッチの設定

- 報時のしかたを選ぶことができます。
- チャイム+数取り
毎正時 ウェストミンスターを奏で、その後時刻に対応した数で鐘が鳴り、時刻をお知らせします。
30分 鐘が1回鳴ります。
- メロディ+数取り
毎正時 1曲メロディを奏で、その後時刻に対応した数で鐘が鳴り、時刻をお知らせします。
30分 鐘が1回鳴ります。
- 数取り
毎正時 時刻に対応した数の鐘が鳴ります。
30分 鐘が1回鳴ります。

メロディについて

- メロディの曲目は時計裏面に表示してあります。
- 曲順は変更することはできません。
- 時刻ごとに曲目は固定されていません。
- 報時する音は電子音によるものです。

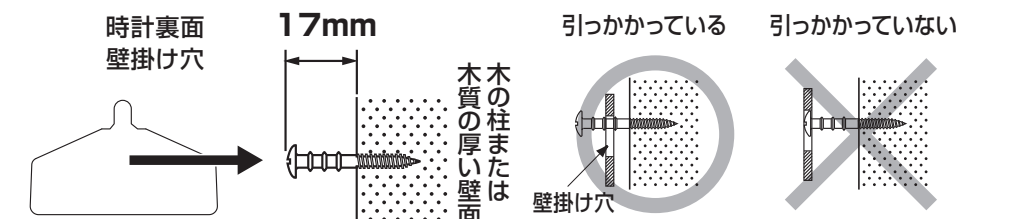
時計の掛け方

掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじや取付金具)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

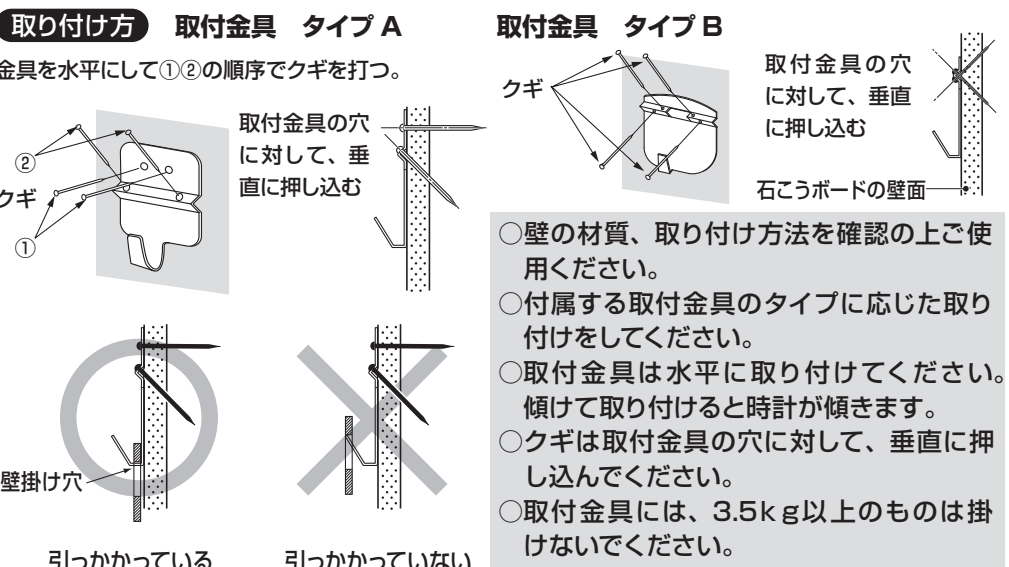
木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



石こうボードの壁面の場合

- 付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。
- 取付金具は下図の通り、付属のクギ4本でしっかり固定してください。



その他の壁面の場合

- コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

■ 手動での時刻合わせ

- 時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせるすることができます。
- ※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作してください。
- ※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。
- ※裏面の Ⓑ 電波受信機能のON/OFF操作 参照。
- ※時間精度はクォーツ精度になります。
- 時刻合わせボタンを押すと、針が動き始めます。
- 時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
- 時刻合わせボタンを押しつづけると早送りで動きます。
- 時刻合わせボタンを押しつづけると秒針は停止します。
- 秒針の動きについて
時刻合わせボタンを離れたときに、ゼロ秒に設定されます。秒針が12時位置以外のところにあるときは、早送りで時刻位置に移動します。